



「広尾の子どもは広尾で育てる」

広尾町 中高一貫教育だより

第40号

平成26年
12月18日発行

発行者
広尾町中高一貫教育推進委員会

インターンシップ発表会

(於) 広尾高校 9月22日(月)

-体験を通じて学ぶこと-

9月22日(月)、広尾高校を会場に、「インターンシップ発表会」が開催されました。

高校生は、主に町内の事業所でインターンシップを経験し、そこで学んだ成果を広尾中学校と豊似中学校の生徒へ向けて報告しました。高校生のパワーポイントを利用した趣向を凝らしたプレゼンテーションは、職業体験後にどのように職業理解を深めたかなど具体的なものであり、中学生は真剣にメモを取り、多くの質問をして、活発な意見交換ができました。さらに、協力していただいた事業所や地域に対し、インターンシップで学んだ成果を発表することで、感謝の心を育むとともに、発表を通じて望ましい職業観やプレゼンテーション能力を身に付けることができました。

豊似中学校の2年生はこの後、12月5日(金)のオープンスクールで総合的な学習の時間で行った職業体験の成果を1,3年生や保護者の方などに報告し、更なる職業意識の向上につなげていました。



「仕事を通じて得た事は何ですか？」など質問しながら、熱心にメモをとる中学生。



「豊似中学校、高浪君の質問に対し、丁寧に学んだことを説明する広尾高校生」

中高交通安全啓発運動実施

交通安全の意識を育てる



交通安全の旗を掲げて、ドライバーに安全運転をうながす、中高の生徒会執行部の生徒の皆さん。



広尾署の方から説明を受ける生徒の皆さん。

10月15日(水)、中高特別活動生徒指導部会主催による「中高交通安全啓発運動」が広尾町本通で実施されました。

安全運転のお願い

ドライバーには、広尾中・広尾高生徒会執行部で作成した交通安全のお守り(ポケットティッシュと眠気覚ましのガムと、生徒が考えた交通安全標語)を入れた物を配布しました。

SCC (Secondary Collaborated Class) の記録

「SCC」という名称で行われている中高の乗り入れ授業です。「S」は「Secondary」で「中等教育」、「C」は「Collaborated」で「協力し合う」、もう一つの「C」は「Class」で「授業」。つまり「中高で協力し合い授業を作る」という意味です。昨年までの「PS21」は「Part Support(部分的なサポート、つまり「補佐」という意味合いが強い)」でしたが、今年度からは中高が同等に授業に携わりコラボレーションし授業を作っていくという方向性を打ち出し、実践しているところです。

9月～11月の「SCC」の実践記録を紹介します。



豊似中学校

理 科 11月4日(火)



吉田教諭の熱血指導を受け、ポイントを書きとめる川崎君。

中学3年生の「学力テスト対策」をしていただきました。豊似中学校の折田教諭と広尾高校の吉田教諭によるそれぞれの個別指導で、しっかりと問題に取り組むことができ、ひとりひとり理科に対する自信が深まり、興味や関心も高まりました。

【中学校3年 小田耕心さんの感想】

吉田先生の丁寧な指導のおかげで、ポイントをしっかりと理解することができました。「わかった」、「できた」という感覚を実感でき理科に対する興味と関心がよりふかまりました。これからも、このような機会を通じ高校へつながる学力をつけていきたいと思いました。

英語科

11月6日(木)

今回のSCCは『学力テストにむけた対策』でした。

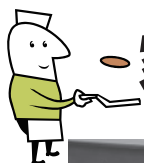
広尾高校の市川教諭が、勉強のやり方や試験に取り組む姿勢をわかりやすく説明しました。生徒もしっかりと授業に取り組み、翌日の学力テストにむけて、自信を深めていたようです。

【中学校3年 川崎 洸己さんの感想】

市川先生のテンポの良い授業にあつという間の50分でした。この授業を受けたおかげで、テストに対する不安も消え自信をもって翌日のテストに向かうことができました。

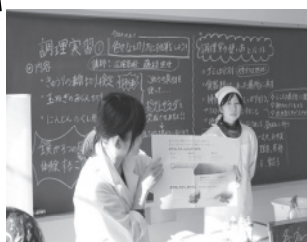


市川教諭のテンポの良い授業に集中する生徒たち。



家庭科

11月18日(火)



調理実習のやり方について説明する、中村教諭と藤枝教諭。

広尾高校の藤枝教諭と豊似中学校の中村教諭が、1年生の家庭科でポテトサラダを作りました。タマネギが目にしみて涙を流しながらの調理実習になりましたが、給食の時間みんなでおいしくいただきました。

【中学校1年佐々木あゆ美さんの感想】

タマネギの調理が大変でしたが、包丁の使い方を丁寧に教えていただき、うまくポテトサラダを作ることができました。



涙を流しながら、タマネギを調理する生徒たち。

広尾中学校



国語科

9月12日（金）、9月24日（水）



作文のポイントを丁寧に説明する小椋教諭。

広尾高校の小椋教諭が広尾中学校2年生に、『作文』を題材とした授業が実施されました。『私の家から学校まで』というテーマで作文を書きましたが、どの生徒も積極的に取り組み、実りある活動になりました。広尾中学校の柴田教諭からは「擬音語や擬態語を上手に使い、楽しみながら文章を書き進めていました」という感想をいただきました。



数学科

10月30日（木）



佐久間教諭の説明に集中して聞き入る生徒。

広尾高校の村山教諭、佐久間教諭、小田教諭が広尾中学校3年生に、『関数』の学習サポートをしてくださいました。またこの日は北大生のサポートも同時にあり、多くの先生に見守ってもらいながら積極的に質問する姿勢が見られました。広尾中学校の大木教諭からは「高校の先生に生徒の姿をより深く見てもらうことができ、演習も細かく見てもらうことができ、実りある活動になった」と感想を語っていました。



多くの先生方から学習サポートを受けながら授業に取り組む生徒たち。



社会科

11月10日（月）



広尾高校の中野教諭が広尾中学校2年生に、『北方領土問題』について広く知り、関心をもってもらうことを目標に授業が実施されました。地図帳やパワーポイントの資料を見て、日本で実際に起こっている問題を身近に感じることができました。広尾中学校の桜井教諭からは「ビザなし交流など北方領土問題の実体験を語っていただき中学生もためになったのでは。」という感想をいただきました。



熱心な指導に集中してノートを取る生徒たち。

校舎内外の美意識向上

中高合同清掃実施 10月3日(金)

毎年実施されている「中高合同清掃」ですが、今年は、広尾中学校と高校が各クラス6グループに分かれて連携して行いました。

楽古川河口流域及び市街地付近など

特に、海浜清掃は昨年度から新たに設けられた区域で、生徒は砂浜に足をとられながら環境の美化に努めました。

また、中学生と高校生は相互に連携しながら、お互いあいさつなどを交わし、協力してゴミを拾い、地域の美化と合同清掃をすることから生まれる連帯感を育むことができました。



教育委員会の山岸係長と作業をする生徒の皆さん。



中学生と高校生が協力して清掃活動に取り組みました。



広尾高校2年生徒会長 佃さんの号令で清掃がスタートしました。

広尾町サウンドフェスティバル

11月2日(日)

今年で13回目を迎える「広尾町サウンドフェスティバル」。当日は400人を超える町内外からのお客様で会場に熱気があふれました。演奏会には中高の吹奏楽部だけでなく、広尾小学校のジュニアウインドアンサンブルや三条高校の皆さんも参加し心をひとつにした演奏を披露しました。



このフェスティバルは、合唱も披露し様々なジャンルを楽しめる演奏会となりました。

中高一貫視察

東京都立南多摩高等学校・中等学校視察

11月20日(木)から11月21日(金)



東京都立南多摩高等学校・中等学校の授業の様子。生徒の皆さんは熱心に授業に取り組んでいました。



中高連携の更なる充実を目指して、広尾中学校櫻井教諭と豊似中学校川崎教諭が、東京都にある東京都立南多摩高等学校・中等学校を訪問しました。

今回の訪問は、中高一貫教育を実践している他校の様子を見聞し、広尾町で行われている中高一貫教育へ、さらに生かされていくことと期待されています。